

**豊かな心を育む教育・文化を
実感できるまちづくり**

◆ **学校教育の充実**

知識や技能の習得に加え、家庭・地域社会・学校が連携し、豊かな人間性とたくましく生きる力を育むような教育活動を展開するとともに、支援を必要とする子どもに安心して学習することができるよう、環境整備に努めます。

◆ **歴史文化の保全・活用**

永納山城跡において、発掘調査の事業期間を延長するほか、八堂山遺跡では復元住居等を全面修復し、文化財保護の意識高揚に努めます。

◆ **生涯学習の充実**

利用者のライフスタイルの変化に対応した図書館の運営を行い、4館連携を図りながら、情報発信の拠点となるよう一層の環境整備に努めます。

◆ **スポーツの振興**

「2017年えひめ国体」を視野に入れ、引き続き次世代育成支援スポーツ事業等に取り組みとともに、アスリート等が合宿するまちづくりを推進し、市民の競技力の向上や交流人口の拡大による地域の活性化をめざし、「合宿都市構想」を一層推進します。

**産業の活力を
実感できるまちづくり**

◆ **農林水産業の振興**

農村環境の適切な保全および基盤整備

を積極的に推進し、農家経営の安定化と耕作放棄地の解消等を促進することにより、地域農業を支え、地域の特性を活かした、高い生産性と収益性を有する農業経営の確立をめざすとともに、内海沿岸漁業の特性を活かした水産振興にも継続して取り組みます。

林業につきましては、山から海までを一体的に捉え、地元の木材や間伐材を積極的に利用する「木製都市構想」を推進するとともに、林道網の整備促進や地元産材の販路拡大等により、林業・木材産業の活性化と、多面的機能が発揮できる優れた「森林」の保全に努めます。

◆ **商工業の振興**

農商工連携が要であり、MH（水素吸蔵合金）冷水製造システムを活用した水素いちご周年栽培や閉鎖循環型温度管理陸上養殖などの実用化実験に取り組み、新食料生産システムの開発に努めます。

また、「食の創造館」を拠点として、「水と食」をテーマとした新たな商品開発や地元産品のブランド化、販路の拡大をさらに推進することにより、地場産業の活性化を図ります。さらには、中心市街地活性化基本計画に基づき、空き店舗の有効活用を図るなど、商業活性化や賑わいの創出に努めます。

◆ **雇用対策**

雇用情勢が厳しい中、県の雇用対策基金を活用した「ふるさと雇用再生事業」や「緊急雇用創出事業」を積極的に実施するとともに、引き続き関係機関との密接な連携の下、人材マッチングのための



▲国史跡・永納山城跡において初めてとる遺構・遺物を確認したため、発掘調査の事業期間を延長します。（写真：昨年12月に開催した永納山城跡現地説明会）



▲スポーツ競技力の向上や交流人口の拡大による産業振興など、地域の活性化をめざし、「合宿都市構想」を一層推進します。（写真：京都産業大学サッカー教室）



▲林業・木材産業の活性化と、多面的機能が発揮できる優れた「森林」の保全に努めます。（写真：2月に開催した木のまち・木のいえリレーフォーラムin西条）



▲水素いちご周年栽培や閉鎖循環型温度管理陸上養殖等の実用化実験に取り組み、新食料生産システムの開発に努めます。（写真：いちご周年栽培実験プラント）

インターンシップの推進や、合同就職面接会の開催などに取り組み、就業機会の創出と地元企業の人材確保の支援に努めます。

**フィールド大学構想の推進と
新しい行政システムの確立**

「まちのすべてが、学びのキャンパス」という理念の下、交流協定を締結している大学等と連携し、さまざまな分野での教育・研究交流を展開する「フィールド大学構想」を一層推進します。

なお、これらの諸施策に加え、新年度におきましては、市民の皆様からの負託

に込められるよう、これまで以上に効率的で機能的な組織機構を構築することと努めています。

以上、平成22年度の市政運営につきまして、私の所信の一端を申し述べましたが、今後におきましても「チーム西条」という一体感の下、市民・事業所、そして行政等の連携による「チームワーク」をもって、経済危機をはじめとする難局を乗り越えてまいれる所存でありますので、議会の皆様方をはじめ、市民の皆様方の温かいご理解と一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。